

2 目標達成計画

事業所名：グループホーム田園

作成日：平成24年4月16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	入居者の要介護状態がすすみ、以前のように外出の機会を頻繁に設ける事が困難となった	個別に、また、無理をしない範囲の中で、ご本人の意向を確認しながら戸外への外出を行い、季節を感じてもらったり、外部や馴染みの人との交流ができるよう支援する	①テラスや敷地内に出て、日向ぼっこやお茶などを楽しむ ②個別に小ドライブを行ったり、園の催事にはご家族や馴染みの人達へ参加を働きかける	6 か月
2		入居者の身体機能の低下により、居室内での転倒事故の発生が懸念される	個別の身体機能の状況を見極めながら、軽運動やレクを通じて、筋力低下や嚥下機能の低下を防ぐよう働きかけるとともに、長期的には居室内の床材の変更等も含め代表者と協議していく	①定期的な軽運動や散歩日光浴の働きかけと実施 ②食事前の嚥下体操の実施 ③個々の残存機能を見極めた筋力運動の実施（隣接のデイサービスのマシンの活用） ④床材の変更（クッションフロアへ）	実施中 6か月 2か年
3		都市計画により周辺の道路や居住区の変更に伴い、再度近隣住人との協力体制の構築が必要となった	近隣住人との良好な関係の構築と協力体制の強化を図る	①近隣住人への挨拶と説明を行い、理解と協力を得る ②町内会活動への積極的な参加 ③園の行事への招待（広報活動）	12 か月
4		個別援助計画の見直しと終末期に向けた具体的方針の共有化	職員が意見を出し合い本人・家族等の動向や本人の身体機能や能力を確認し合い評価し、柔軟な対応ができる介護計画の作成にとめるとともに、重度化、終末期における具体的な方針を話し合う場を設け全員が共有できるようにする。	①電話連絡や面会時の報告だけでなく、時間をとって家族との話し合いの場を設ける ②入居者の体調変化の都度、家族との協議の場を設け、終末期に向けた具体的方針を協議する ③3ヶ月に1回の割合でケアプランの実施状況について点検と評価を行い、次の介護計画の作成に反映させる	12 か月
5					か月